

3 選定（採択）の理由

選定した教科用図書

教科書 種目	発行者の		教科書名（シリーズ）
	番号	略称	
国語	38	光村	国語(1～3)

選定理由

(1) 内容の範囲及び程度

- ア 教科の目標達成に結びつく学習内容になっている。
- イ 生徒の発達段階に応じた系統的・段階的な内容である。
- ウ 学習指導要領を踏まえ、各領域・内容に応じた教材・題材を取り上げている。

(2) 内容に関する配慮事項

- ア 学習目標に応じた学習プロセスが明示され、具体的な言語活動が位置付けられている。
- イ 情報の扱い方においては、「情報と情報との関係」と「情報の整理」の二つの系列を意図した教材配置がなされている。
- ウ 「読むこと」で学習した内容と関連させて「書くこと」の活動が設定されるなど、「思考力・判断力・表現力等」と「知識及び技能」を高められるように配置されている。
- エ 教材は、学年間で系統的、発展的な指導ができるよう配慮されている。
- オ 「話すこと・聞くこと」の学習では、具体的な言語活動が示されている。
- カ 古典の学習導入部では、伝統的な言語文化(古典)に親しむことが喚起されるような資料が配置されている。

(3) 分量

- ア 1年 334(本編 236)、2年 330(本編 230)、3年 318(本編 208)
- イ 量的にゆとりがあり、かつ、領域や内容に偏りがなく調和がとれている。

(4) 使用上の便宜

- ア 巻頭や巻末資料、挿絵、写真、図などは、学習上の関連や程度に応じた発展的・弾力的な学習が展開できるように配置されている。
- イ 学習を通して身につけるポイントを「学習の窓」として具体的に示している。
- ウ 漢字の問題は書き込みができ、学習の定着に効果的である。

(5) 印刷・製本

- ア 文字の大きさや行間を発達段階に応じて変えたり、題材によって書体を変えたりしている。
- イ 特別支援教育や色覚の多様性への配慮があり、鮮明で美しい写真資料により教材のイメージを膨らませることができる。
- ウ 漢字の読み仮名や読書案内等の小さな文字ではUD書体を用いている。

(6) 選定の観点

- ア 文学的文章教材は定評のある作品を配置している。説明的文章教材は、多様な文種を取り上げ、現代的な教材を多く取り入れている。
- イ 生徒たちを取り巻く今日的教育課題(持続可能な社会づくりの視点に立った「主体的・対話的で深い学び」、「情報教育」等)の配慮がなされている。
- ウ 教科書に記されたQRコードをタブレット等で読み取り、動画や資料が閲覧できるなど理解を助けたり、興味を持たせたりするコンテンツが準備されている。

3 選定（採択）の理由

選定した教科用図書

教科書 種目	発行者の		教科書名（シリーズ）
	番号	略称	
書写	38	光村	中学書写 一・二・三年

選定理由

（1）内容の範囲及び程度

- ア 国語科の目標達成に結びつく学習内容である。
- イ 書写の基礎的・基本的な内容を系統的に、発達段階に応じて身につけることができる内容となっている。
- ウ 毛筆・硬筆・実用書とバランス良く取り上げられている。

（2）内容に関する配慮事項

- ア 「書写」の指導事項を系統的かつ効果的に学習できるように、各単元・教材での学習内容を焦点化し、段階的な配列になっている。①考えよう②確かめよう（書いて原理・原則を確かめる）③生かそう（日常の文字に生かす・振り返り）
- イ 文字を整えて速く書くために、1教材1事項で構成し、学習のねらいを焦点化することで効率的に力を付けられるように配慮している。
- ウ 全教材に「目標」及び「学習を振り返る」（自己評価の観点）を示すことで、知識・技能の定着や自己の変容を確認できるように構成されている。
- エ 全教材に学習のポイントがひと目でわかる「学習の窓」を設け、基礎基本、原理原則を明確に示している。
- オ 校種間の連携として、巻頭に小学校の学習をまとめた「学習のはじめに」、高等学校の学習内容（「文字の歴史を探る」や「なりきり、書生王羲之」）が記載されている。
- カ 硬筆練習帳「書写ブック」、毛筆教材文字と同じ学習要素を持つ硬筆課題を豊富に設定し、硬筆の密接な関連を図りながら、毛筆の学習が硬筆に生きるよう工夫している。
- キ 「日常に役立つ書式」として、手紙やはがき、原稿用紙等の書式を整理して示し、身につけた書写力を日常生活に生かすことができるように配慮されている。

（3）分量

- ア ページ数157（本編1年：27、2年：26 3年：18 資料編等：57
硬筆練習帳（書写ブック）：29）

（4）使用上の便宜

- ア 毛筆教材では、朱墨や筆使いを示す写真を用いて、筆脈や穂先の動きを把握しやすいように工夫されている。
- イ QRコードがある教材は、運筆や準備片付けの解説動画があり内容を理解しやすい。

（5）印刷・製本

- ア B5版、表紙は撥水加工、正本3カ所綴じ、印刷は鮮明で活字も見やすい。
- イ 印刷等も鮮明であり、目次や小さい文字には、読みやすさと見やすさを追求したUD書体を用いている。

（6）選定の観点

- ア 各教材に見通しが示され、主体的な学びができるように工夫されている。
- イ 本編と硬筆練習帳や巻末資料「楷書と行書の使い分け」を活用することで、生徒の実態に応じた学習が展開できる。

3 選定（採択）の理由

選定した教科用図書

教科書 種 目	発 行 者 の		教 科 書 名 （シリーズ）
	番 号	略 称	
社 会 (地理的分野)	4 6	帝国	中学生の地理

選定理由

(1) 内容の範囲及び程度

- ・教科の目標達成に結びつく内容になっており、内容の程度はその学年の生徒の発達段階に適応している。
- ・学習指導要領に示す教科及び分野の目標に従い、分野の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げている。

(2) 内容の取扱い

- ・全編にわたり、地理的事象が的確に読み取れ、地域の姿や人々の営みを映し出している写真を多く掲載している。
- ・章や節ごとの学習を振り返るまとめの学習により、地理的な見方・考え方を働かせて説明する力を培う構成となっている。

(3) 内容に関する配慮事項

- ・随所に「小学校・歴史・公民との関連」の記載がされており、小学校での学習事項や、他分野との関連が提示されている。
- ・日本の諸地域の学習においては、学習する地域ごとに特色的な考察の仕方が設定されており、考察に必要な主題図や統計資料等が適切に配置されている。例えば、自然環境を中核とした地方では、土地利用に関する主題図や農地面積の変化に関する統計資料を通して地域的特色を考察するというように、その地域的特色を着実に理解できる地誌の展開がなされている。
- ・「確認しよう」では、主題図や統計資料、教科書の記述から読み取り、学習内容を確認する活動ができるような工夫がされている。「説明しよう」では、学習した地域の特徴や課題、事象の背景などを学習した内容をもとに説明文をつくる言語活動が行えるように工夫されている。

(4) 分量

- ・A B版、本文295ページで、課題学習・発展的学習を含め、115時間の授業時数に照らし、適切に配分されている。

(5) 使用上の便宜

- ・章ごとに各見開きの色が統一されており、学習内容の位置づけが一目で分かるようになっている。
- ・巻末に「地名さくいん」「事項さくいん」「世界の家畜・鉱産物」「世界の農産物」が掲載されている。

(6) 印刷・製本等

- ・印刷は鮮明であり、文字・字体・製本様式・行間・紙質も適切である。教科書中の文章には、見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントが使用されている。
- ・図やグラフ等、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインが取り入れられている。

3 選定（採択）の理由

選定した教科用図書

種 目	発 行 者 の		教 科 書 名 （シリーズ）
	番 号	略 称	
社会 (歴史)	1 1 6	日文	中学社会 歴史的分野

選定理由

(1) 内容の範囲及び程度

- ・本書は学指導要領の内容と整合性が図られており、教科の目標達成に結びつく内容になっている。
- ・文表表現や内容などが生徒の発達段階に即している。

(2) 内容の取扱い

- ・基礎的、基本的な知識や技術が習得できる内容のみならず、主体的・対話的で深い学びにつながる構成になっている。
- ・各時代の特色や時代の転換に関係する事象を重点的に取り上げ、我が国の歴史の大きな流れを押さえられるようにしている。
- ・基本的人権・共生社会や平和・国際理解、伝統・文化や環境・持続可能な社会など、現代につながる課題を各時代で豊富に取り上げている。

(3) 内容に関する配慮事項

- ・グローバル化する国際社会をふまえて、我が国の歴史の背景となる世界の歴史の記述が充実するように配慮している。
- ・学習の深化と発展、生徒の家庭学習に対してさまざまな配慮がなされている。
- ・地理的分野や公民的分野の学習に関わる事項を確認、活用することができるように配慮している。
- ・文化史は原則3～4ページ構成にして、代表的な事例を写真や図版等を豊富に用いて読みやすい大きさと取り上げている。

(4) 分量

- ・全体の分量317ページ（本文297ページ）、授業時数115時間、課題学習・発展学習に20で計画されている。

(5) 使用法の便宜

- ・見開き2ページで原則1単位時間であり、見通し・振り返り学習がしやすい構造になっている。
- ・地図、グラフ等の図版は、カラーユニバーサルデザインに対応した配色にするほか、色以外の情報でも識別できるようにしている。
- ・見開きごとに学習課題と確認コーナーを設けるとともに、随所に見方・考え方コーナーや、歴史+α、先人に学ぶなどのコラム、資料活用や基本用語のコーナー等で基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図る工夫をしている。

(6) 印刷・製本等

- ・文字や図表、写真などの資料が読みやすく、色映えするように工夫している。
- ・再生紙、植物油インキを使用している。

3 選定（採択）の理由

選定した教科用図書

種 目	教科書	発 行 者 の		教 科 書 名 (シリーズ)
		番 号	略 称	
社 会 (公民的分野)		1 1 6	日 文	中学社会 公民的分野

選定理由

(1) 内容の範囲及び程度

- ・学習指導要領に示す教科目標、学年の目標並びに内容に示す事項を不足なく取り上げており、適切な内容で、生徒の発達段階に適応している。

(2) 内容の取扱い

- ・関心と意欲を引き出す「導入資料」、学習に見通しを持たせる「学習課題」、丁寧な記述で学習を助ける「本文・図版」、1時間の学習を振り返る「確認」と、思考の流れに沿った構成となっており、課題解決学習が効果的に行えるように配慮されている。
- ・教科書全体を通して、すべての本文ページに「見方・考え方」コーナーを設け、主体的・対話的で深い学びを実現する工夫をしている。
- ・章末に「チャレンジ公民」を設け、「自分たちの町の首長を選ぼう」等の社会の課題について、自ら問題を発見し、解決する能力を養うことができるよう工夫している。
- ・政治単元では、三権分立などの民主政治全体の仕組みを理解し、個別的に学習を深める内容になっている。

(3) 内容に関する配慮事項

- ・本文ページでは、「深めよう」「アクティビティ」など、随所に問いや活動を設けて、生徒が主体的に学習を行うための教材やシンキングツールを豊富に紹介している。
- ・学習の整理と活用という単元末のまとめで、語句の整理、ニュースの見方・考え方を知るという項目を設けている。
- ・編（章）末の「チャレンジ公民」では、見方・考え方を働かせる問いが段階的に設けられ、生徒が自ら考える力を育むことができる構成になっている。

(4) 分量

- ・目次、索引、巻末資料を除き全221ページで構成されており、標準授業時間100時間で無理なく学習できる分量となっている。

(5) 使用上の便宜

- ・単元の色を統一している。「第1編私たちと現代社会」「第2編私たちの生活と政治」「第3編私たちの生活と経済」「第4編私たちと国際社会」「第5編私たちの課題」の5編が、5色に色分けされて見やすくなっている。

(6) 印刷・製本

- ・高い紙質の用紙が使用され、印刷は鮮明で、文字の大きさ、字体、製本は適切であり、写真、グラフ、イラストなどは明確な色調で印刷されている。

3 選定（採択）の理由

選定した教科用図書

種目	教科書		教科書名（シリーズ）
	発行者の 番号	略称	
社会 （地図）	46	帝国	中学校社会科 地図

選定理由

（1）内容の範囲及び程度

- ・ 学習指導要領の教科の目標に従い構成されている。学習内容に沿って地図やグラフ、資料などを取り上げ、教科書と併せて活用することで学習効果が高まるように配慮されている。
- ・ グラフや写真などの資料がバランスよく取り上げられており、一部の地域に偏ることがないように構成されている。

（2）内容の取扱い

- ・ 学習指導要領に示す学力観や今日的な課題に対応する資料を随所に掲載している。
- ・ 持続可能な開発目標（SDGs）に関連した内容や防災、環境に関する主題図や学習課題を扱っている。
- ・ 教科書にない補充資料や教科書とは別の視点からの資料、地理的技能を高める資料等が充実するなど、教科書との連携が他分野も含め強化されている。
- ・ 教科書の考察の中核と関連する「降水量」「人口分布」「農業」「工業・交通」の主題図が配置され、教科書との連携・補充が行えるような工夫がされている。

（3）内容に関する配慮事項

- ・ 世界の州及び日本の地方とも、「一般図」→「資料図」という構成になっている。「資料図」のページでは、気候や言語、宗教などの主題図があり、地域的特色が捉えやすくなっている。
- ・ 世界の州や日本の各地方における「資料図」のページには、共通した内容を取り上げたものと教科書においてそれぞれの地域や地方取り扱う学習内容や学習課題に対応した主題図が適切に配置されている。
- ・ 世界の諸地域について、各州の自然、産業、生活、文化、歴史的背景などから地域的特色を大観できるように工夫されている。

（4）分量

- ・ 総ページ数188ページ（索引を含む）前回より12ページ増量しているが、一般図や資料図が偏りなく配置されており適量である。

（5）使用上の便宜

- ・ 資料図は、縮尺を同じにすることで、分布や関連性を考察することができるような工夫がされている。また、統計資料において生徒が調べやすいように工夫されている。
- ・ 一般図、さくいん共に国内すべての市町村を網羅することで、全国どの学校でも地域調査が可能となっている。
- ・ 統計資料は上位国・上位県の数値をわかりやすいように赤で示し、特色をつかみやすい。

（6）印刷・製本等

- ・ 幅広の判型を使用、縦に4cm大きくなり、色彩もはっきりしている。写真や文字の大きさ、濃度も適切である。明るい色を基調としており、文字は見やすく読み間違いしにくいユニバーサルデザインフォントを採用している。

3 選定（採択）の理由

選定した教科用図書

教科書 種 目	発 行 者 の		教 科 書 名 （シリーズ）
	番 号	略 称	
数学	1 1 6	日文	中学数学

選 定 理 由

（1）内容の範囲及び程度

- ・全領域で、基礎的・基本的な知識や技能が身につく内容になっている。
- ・学年ごとに補充・発展的な問題や課題があり、生徒の実態に合わせることができる内容になっている。

（2）内容の取扱い

- ・〔A数と式〕では、文字の意味、文字式で表すこと、文字式の意味を読み取ること、文字式の活用を丁寧に扱っている。
- ・〔B図形〕では、図を書いたり巻末付録の教具等を活用したり、具体物を操作する活動を通して、図形の意味や性質や関係を理解できるようにしている。
- ・〔C関数〕では、吹き出しや図・表をもとにした意味や表現、表・式・グラフを用いた特徴、関数を用いた事象の考察や表現活動が工夫されている。
- ・〔Dデータの活用〕では、データ分析の仕方や用語、ドットプロットを併記して箱ひげ図のしくみを正しく理解できるようにしている。P P D A C サイクルを理解しながらデータの傾向を読み取り、考察や判断する力が身につくようにしている。
- ・数学的な見方・考え方を働かせて、数学的活動では、日常や社会の事象から問題を見出す過程、数学の事象から問題を見出す過程を扱うなど、数学的に考える資質・能力を育成できるようにしている。
- ・「主体的・対話的で深い学び」の実現のために、見通しを立てたり、話し合いをしたり、学習の過程を振り返ったりするための場面を設けている。

（3）内容に関する配慮事項

- ・思考力・判断力・表現力を育成できるように、巻頭コーナーで数学の学び方を説明し、また、横欄に「見方・考え方」等を明示している。
- ・話し合いの場面や数学的な表現を用いて説明する活動の場面を設け、言語活動の充実について配慮している。
- ・「学び合おう・対話シート」は、言語活動を重視した内容になっている。
- ・巻末の数学マイトライの内容が充実しており、主体的に学習に取り組む態度や思考力を育成することができるようになっている。
- ・インターネットやICT機器の活用、QRコードを利用してウェブサイトを操作して学習できるデジタル資料が掲載されている。

（4）分量

- ・全学年とも、分量に隔たりなく、指導時数から見て適切な量である。

（5）使用上の便宜

- ・各章の最初に「次の章を学ぶ前に」、1年の巻頭巻末に「算数の確かめ（問題編）」等を設け、系統性や学び直しに配慮した構成になっている。
- ・体験的な学習のための教具や福岡県福祉のまちづくり条例・九州新幹線等の福岡県の身近な話題、索引の英語表記の併記等を工夫している。

（6）印刷・製本等

- ・UDフォントを使用し、CUDに配慮している。
- ・巻末付録にはミシン目が付いていて扱いやすい。

3 選定（採択）の理由

選定した教科用図書

教科書 種 目	発 行 者 の		教 科 書 名 （シリーズ）
	番 号	略 称	
理科	4	大日本	理科の世界 1、2、3

選定理由

(1) 内容の範囲及び程度

- 学習指導要領に基づいており、教科の目標に結びつく内容が記載されている。
- 内容の程度は学年に応じて適切であり、単元構成や観察、実験なども適切に位置づけられている。

(2) 内容の取扱い

- 物質やエネルギーに関する事物・事象について、観察、実験などの技能を身につけ、科学的に探究する力や態度を養うようにしている。
- 生命や地球に関する事物・事象について、観察、実験などの技能を身につけ、科学的に探究する力や態度を養うようにしている。
- 「問題の発見」「学習の課題」「予想、計画」「観察・実験」「結果」「考察」「解説など」というような学習過程を基本とし、見通しをもって科学的に探究するようにしている。
- 各分野間及び各項目間の関連が図られるとともに、単元末の「探究活動」で各分野の見方・考え方を働かせ、科学的に探究するために必要な資質・能力を養うことができる内容になっている。

(3) 内容に関する配慮事項

- 単元冒頭で見開きにわたって「これまでに学習したこと」を位置づけ、単元の学習内容に関連して小学校で学んだことを、図などを用いて示されている。
- 体験的な学習や問題解決的な学習が重視されているとともに、「やってみよう」「思いだそう」「問題を見つけよう」「振り返ろう」等で自主的・自発的な学習が、学年によって重点的に促されるよう配慮されている。
- 観察、実験などは、事故防止等の安全面が配慮されており、注意の表記とその内容を色つきで表示し、巻頭および巻末に実験上の注意などが掲載されている。
- 発展的な学習内容は適切であり、関連を表示し、資料末尾にその内容を学習する時期や教科を示している。
- 学習の内容に関連した話題を「くらしの中の理科」「Science Press」等で紹介し、内容によっては「安全」「環境」「日本を知る」を併記し、科学への関心を持たせる配慮がなされている。

(4) 分量

- 授業時数に照らして、全体の分量、そして内容とその取扱いの配分は適切であり、領域等は偏りなく調和がとれている。

(5) 使用上の便宜

- 本文と図の関係が、文頭および文末に明瞭に示されている。また、本文の語句や内容等に関わる注釈を、補足説明として欄外に記載している。

(6) 印刷・製本等

- 本はB5判で、一目で見られるサイズの中に上記の工夫を凝らしている。
- 印刷は鮮明であり、見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを採用している。製本はしっかりとしている。文字の大きさ、字体、行間などの設定は適切である。

3 選定（採択）の理由

選定した教科用図書

種 目	発 行 者 の		教 科 書 名（シリーズ）
	番 号	略 称	
音楽 （一般）	2 7	教芸	中学生の音楽

選定理由

（１）内容の範囲及び程度

- ・歌唱では、中学生の心情にあった曲が多く、特に合唱曲においては、基礎的・基本的な曲から表現の工夫まで対応できる豊富な教材が掲載されている。

（２）内容の取扱い

- ・創作の学習では無理なく取り組めるよう、発達段階に応じた教材がわかりやすい手順で示されている。
- ・郷土に伝わる民謡では、47都道府県の民謡や様々な民謡の種類が取り扱われており、それぞれの地域に応じたものを選択できる。また、日本に伝わる伝統音楽、世界の民謡が系統的に掲載されている。

（３）内容に関する配慮事項

- ・表現領域と鑑賞領域の内容が分類して配列されている。また、創作の学習内容が歌唱や鑑賞の学習の間に段階的に挿入されていてわかりやすい。
- ・歌唱教材が充実しているので、選択の幅が広がり、表現活動への意欲や喜びを高めることができる。特に、男声の音程・音域を配慮した選曲となっている。
- ・各楽曲で、着目するポイントや考え方、深めるポイントが、譜例や図版、吹き出しを用いて説明されている。また、「深めよう！音楽」の部分にワークシートもあり、より学びを深めることができる。
- ・名称や歌い方など、絵や言葉が詳しく表記されているので、イメージしやすく、順序立てた指導にも活かしやすい。

（４）分量

- ・過不足のない分量の教材が取り扱われている。また、学習指導要領に示されている内容を踏まえ、教材が系統的・発展的に組織されており、弾力的に増減できるように配慮されている。

（５）使用上の便宜

- ・「学習の目標」「活動文」「音楽を形づくっている要素」が各教材に設定され、学習するポイントが一目で分かり、教材を通して何を学ぶのかが理解しやすくなっている。
- ・巻頭にある学習内容に、資質・能力の三つの柱が書かれており、どのようなことを学習するのか一目で分かる。
- ・ICT機器を使い、教材に記載されているQRコードを活用することで楽曲の関連情報を得ることができる。

（６）印刷・製本等

- ・製本は糸綴じになっており平たく開きやすい。紙面は光を反射しにくく、写真や楽譜もカラー刷りで見やすい。紙質も滑りにくく、めくりやすい素材である。

3 選定（採択）の理由

選定した教科用図書

教科書 種 目	発 行 者 の		教 科 書 名（シリーズ）
	番 号	略 称	
音 楽 （器 楽）	2 7	教 芸	中 学 生 の 器 楽

選 定 理 由

（1） 内容の範囲及び程度

- ・ 基礎的な曲から高度なアンサンブルの曲まであり、生徒が自らの能力に応じて選択できるとともに、段階的に伸長できるようにまとめられている。また、中学校器楽で扱う楽器が一通り網羅されている。

（2） 内容の取扱い

- ・ 取り扱う頻度が高いリコーダーに関しては16ページ分の内容である。基礎的な事項を丁寧に取り扱っているので、音楽に親しみ、音楽活動の楽しさを体験できる内容となっている。
- ・ 箏については10ページ分、箏の旋律創作は細かく例示がしてあり取り組みやすいように工夫されている。また、太鼓については6ページ分、長胴太鼓、桶胴太鼓、締太鼓が取り扱ってある。郷土の祭りの写真も4枚使用してあり、郷土の伝統音楽のよさを味わい、愛着をもつことができる内容となっている。
- ・ 打楽器について詳しく解説してあり、基礎を丁寧に取り扱っているので、アンサンブルで使いやすい。

（3） 内容に関する配慮事項

- ・ リコーダーについては、悪い例やコツ、Q&Aを具体的に取り上げてありわかりやすい。楽器の手入れについても触れてある。段階的に無理なく学習できるように組み立ててある。
- ・ 巻頭の若手注目音楽家からのメッセージと写真2ページ分は中学生に適した良い内容である。また、数多くの世界の民族楽器の写真2ページ分は諸外国の文化を理解する一助になる。

（4） 分量

- ・ 巻末の「楽器でメロディー」は、ポップス1曲、ジャズ1曲、クラシック3曲計5曲掲載されている。

（5） 使用上の便宜

- ・ 表紙は中学生の学校生活の場면을鮮やかに描いてあり、温かみがあり生徒の興味・感心を引き愛着が持てる印象である。
- ・ 学習指導要領に示された資質・能力の3つの柱をわかりやすい紙面構成で示してある。
- ・ 随所に練習のポイントである☑欄が設けられ丁寧な内容となっている。

（6） 印刷・製本等

- ・ 糸綴じ方式で開きがよく、置いたときに見やすい。写真はすべてカラーで鮮やかである。

3 選定（採択）の理由

選定した教科用図書

種 目	発 行 者 の		教 科 書 名 （シリーズ）
	番 号	略 称	
美術	1 1 6	日文	美術

選定理由

（１）内容の範囲及び程度

- ・新学習指導要領で示される内容が網羅されている。
- ・発達の段階に応じた構成がなされている。

（２）内容の取扱い

- ・造形的な見方・考え方を働かせ、生活の中の美術や文化に深くかかわることができる構成になっている。
- ・言語活動を意識し、社会とのつながりや道徳科との関連を考慮して編集されている。
- ・刃物の取扱い等、安全面への配慮が明確に示されている。
- ・生徒が主体的に取り組める題材が取り上げられ、作品例や作者の言葉を用いて制作意図を解説し、目標を達成できるよう内容が配慮されている。

（３）内容に関する配慮事項

- ・題材と関連する学習のページや道徳科との関連を示している。
- ・冒頭で美術を学ぶ意義について触れ、図画工作との接続にも配慮している。
- ・著作権、肖像権について記載される。
- ・ユニバーサルデザインの視点を意識した見やすさ読みやすさがある。

（４）分量

- ・各学年とも、授業時数に照らして、全体の分量、内容とその取扱いの配分は適切である。
- ・巻末に「学びを支える資料」を設け、生徒が必要に応じて活用できるよう工夫されている。

（５）使用上の便宜

- ・第１学年用と第２・３学年用上下の３冊構成である。
- ・学びの内容が分かりやすく、掲載作品が大きく美しく見やすい。
- ・図画工作科との関連や造形的な見方・考え方を豊かにする視点や目標が明確に示されている。
- ・QRコードを読み取ることで、ウェブコンテンツを見ることができる。

（６）印刷・製本等

- ・印刷が鮮明であり、掲載作品が多く、見る魅力がある。
- ・A4サイズを越える大きさであり、原寸大の図版も使用されている。

3 選定（採択）の理由

選定した教科用図書

種 目	発 行 者 の		教 科 書 名 （シ リ ー ズ）
	番 号	略 称	
保健体育	2 2 4	学研	中学保健体育

選 定 理 由

（1）内容の範囲及び程度

- 体育分野・保健分野ともに、学習指導要領に明記されている内容を網羅しており、保健体育科の目標を達成しやすい構成になっている。
- 基礎的・基本的な知識や技能の定着とともに今日的な諸課題も取り上げ、生徒の興味関心を高める内容となっている。

（2）内容の取扱い

- 各単元が「課題をつかむ」→「本文(知識の習得)」→「考える・調べる」→「まとめる・深める」という構成で、課題解決的な学びが実現しやすい工夫がなされている。
- 単位時間を意識した構成で、各項目で「学習の目標」が提示され、課題にせまる授業展開がしやすい工夫がなされている。
- 各章の終わりに「章のまとめ」が設けてあり、学びを深め、広げる工夫がなされている。
- 今日的な課題が豊富に取り上げられており、内容解説資料で詳しく解説されている。

（3）内容に関する配慮事項

- 「情報サプリ」「リンク」などが多数あり、運動や健康・安全についての幅広い知識と教養を身につけることができるように配慮されている。
- 「学研教科書サイト」で、外部サイトとの関連が図れる。
- 各章末に学習内容との関係が深い「探求しようよ」が設定され、学びを生活につなげる工夫がなされている。

（4）分量（ページ数、割合等）

- 各学年、体育編3項目、保健編1年次12項目・2年次12項目・3年次11項目で構成されており、学習内容が厳選されている。

（5）使用上の便宜

- ページは左右下部、目次は表紙裏面に見開きで設定され、適度な読み仮名が書かれている。
- 基本的に見開き2ページを1単位時間としている。
- 各学年で学習する範囲を、教科書側面（小口）を利用して、上下に段違いで色分けし、把握しやすいような工夫がなされている。
- 各章毎に「章のまとめ」、各学年の終わりに「〇年の学習の終わりに」、すべての学習の終わりに「保健体育の学習の終わりに」が設定されており、各章毎、学年毎の学びのまとめ及び中学校3年間の保健体育の学びのまとめを促す工夫がなされている。
- 見やすく読み間違いにくいユニバーサルデザインフォントを使用し、全ての生徒の色覚特性に適応するように配慮されている。

（6）印刷・製本等

- サイズは縦B5×横A4のAB版で、表紙には撥水加工が施されている。
- 紙質はつや消し白色で、環境に配慮した紙、インキ、印刷方式を使用している。
- 製本は、環境と安全、強度面を配慮した製本になっている。

3 選定（採択）の理由

選定した教科用図書

教科書 種 目	発 行 者 の		教 科 書 名（シリーズ）
	番 号	略 称	
技術・家庭 （技術分野）	2	東書	新しい技術・家庭 技術分野

選 定 理 由

- (1) 内容の範囲及び程度
 - ・学習指導要領に基づき，教科の目標に結びつく内容を記載している。
 - ・「A材料と加工の技術」，「B生物育成の技術」，「Cエネルギー変換の技術」，「D情報の技術」の4つの内容の程度は適切であり，題材や体験的な活動も適切に位置づけている。
- (2) 内容の取り扱い
 - ・各編が1章「理解する」，2章「問題解決を行う」，3章「つなげる，広げる」と，技術の「見方・考え方」を意識した構成となっている。
 - ・問題解決に取り組むための各編の2章が「問題の発見と課題の設定」→「設計・製作」→「評価，改善・修正」の流れになっている。
 - ・技術を評価しよりよい生活，社会の実現に向けて考えるために，技術ガバナンス（技術の評価，選択，管理・運用）と技術イノベーション（未来に向けた技術の改良，応用）を設定している。
 - ・技術科教育で大切にしている「最適化」「トレードオフ」を意識した内容となっている。
 - ・新しい技術について多く取り上げ，生徒の関心を引くことができる。
 - ・「ガイダンス」では，身近にある製品（スマートフォンや缶）を取り上げ，また，マンガを使用して説明し，生徒が3年間の見通しをもって，学習に取り組むための工夫がされている。
 - ・統合的な問題解決をねらいとした学習内容を記載している。
- (3) 内容に関する配慮事項
 - ・小学校や，他教科，道徳，環境，防災などをマークで示し，技術との関連が意識した内容となっている。
 - ・巻末には，「プログラミング手帳」を掲載しており，より学校の設備等の実情に応じた発展的な学習へとつなげることができる。
 - ・「知識・技能」の内容を基に，「思考力・判断力・表現力」を高めるための，体験活動，実験・実習を取り入れている。
 - ・学習方法，思考ツールの紹介，技術の見方・考え方を分かりやすく紹介している。
- (4) 分量
 - ・各内容のねらいを達成する適切な分量となっている。
 - ・「ガイダンス」10ページ，「A材料と加工の技術」70ページ，「B生物育成の技術」50ページ，「Cエネルギー変換の技術」62ページ，「D情報の技術」は66ページ。
- (5) 使用上の便宜
 - ・章末に「学習のまとめ」があり，3観点ごとに単元の振り返りができるようにしている。
 - ・Dマークの「二次元コード」により，動画や資料等にアクセスできる。
 - ・各ページの下にある「技術の工夫」に学習内容に関連した生活や社会の問題解決の工夫をコラムとして載せている。
 - ・問題解決に必要な技術は各編の「TECK Lob」にまとめてあり，課題に応じて技術を選択できるようにしている。
 - ・各編の1章はじめに「技術の見方・考え方」の内容を記載している。
 - ・実践的・体験的な学習ができるように各編に問題解決例を7から11題材程度取り上げている。（※情報の技術では「双方向性コンテンツのプログラム」，「計測・制御によるプログラム」に対し，それぞれ6題材）
 - ・全体的に写真や図，イラストなどを数多く用いて説明し，基礎・基本的な知識・技能の習得と問題解決のための学習活動の充実を図っている。（全編）
 - ・技術への関心が高まるようにページ下に「豆知識」を掲載している。
- (6) 印刷・製本等
 - ・A B版が用いられ，文字は見やすいユニバーサルデザインフォントを使用している。
 - ・再生紙・植物性インキ，軽量な用紙を使用している。
 - ・生徒の色覚特性に適応したデザインのため見やすい。
 - ・表紙裏に教科書無償，ユニバーサルデザイン，環境に配慮した紙質やインクについての注釈がある。

3 選定（採択）の理由

選定した教科用図書

種 目	発 行 者 の		教 科 書 名（シリーズ）
	番 号	略 称	
技術・家庭 （家庭分野）	2	東書	新しい技術・家庭 家庭分野

選 定 理 由

（1）内容の範囲及び程度

- ・学習指導要領に基づき,教科の目標に結びつく内容である。
- ・3つの内容（「A 家族・家庭生活」「B 衣食住の生活」「C 消費生活・環境」）について構成し,「ガイダンス」と「生活の課題と実践」も記載している。
- ・配列は、B→C→A である。

（2）内容の取り扱い

「ガイダンス」

- ・学習の進め方や自分の生活を振り返る内容を記載し,3年間を通してチェックができる。

「A 家族・家庭生活」

- ・幼児や高齢者,地域の人々との協働に関連する絵図や写真,説明,会話を入れている。
- ・触れ合い体験活動は具体例を示すとともに,地域でできることなども紹介している。
- ・幼児のおやつの実習例を紹介している。

「B 衣食住の生活」

- ・「いつも確かめよう」で基礎的・基本的な知識及び技能を手順と併せて示している。
- ・基礎的・基本的な技能を生かした製作例や実習例を数多く紹介しており,特に調理実習では各調理法の実習例と組み合わせる料理の例を示し,一食分が考えやすくしている。
- ・エコクッキング,朝食,弁当の実習例を記載している。
- ・日本の生活文化を継承する視点から,和食・郷土料理や和服,日本の伝統的な住まい方や住まいを記載している。

「C 消費生活・環境」

- ・計画的な金銭管理や消費者被害への対応について記載している。
- ・他教科との関連を示しながら,持続可能な消費生活や社会を目指した内容を記載している。
- ・商品の選択に役立つ表示やマークについて身近な商品の例を記載している。

「生活の課題と実践」

- ・アイデアを広げ,整理するための思考ツールの例を記載するとともに,3つの内容ごとに実践例をまとめている。

（3）内容に関する配慮事項

- ・各編の最初に小学校の学習内容を記載し,振り返ることができる。また,中学校で学ぶことや生活の営みに係る見方・考え方を示している。
- ・実践的・体験的な学習活動や問題解決的な学習などの内容を取り入れ,系統的に学習を展開している。
- ・「主体的・対話的で深い学び」につながる場면을「考えてみよう」「調べてみよう」「やってみよう」「話し合ってみよう」で記載している。
- ・各教科との関連を「他教科」として示している。

（4）分量

- ・「ガイダンス」14 ページ,「A」54 ページ,「B（食）」86 ページ,「B（衣）」52 ページ,「B（住）」24 ページ,「C」26 ページ,「生活の課題」15 ページで,学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項を授業時数に照らし,適切に配分している。

（5）使用上の便宜

- ・巻頭に構成を示し,教科書の使い方をわかりやすく説明している。
- ・自立と共生を目指して,多くの実習例や生活の課題と実践で例を示している。
- ・学習内容ごとに目標とキーワードを示し,「せいかつメモ」をつけ,生徒の学びが深まる。
- ・「防災・減災手帳」を最後に付け,さらに取り出しができるように切取線をつけている。
- ・付録として,「子どもの視覚体験眼鏡」を付け,幼児の視界を体験できる。
- ・各内容に二次元コードも付け,動画等のコンテンツにアクセスしやすくしている。
- ・絵図や写真,マーク,説明,会話を入れてわかりやすい。
- ・見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントで,全ての生徒の色覚特性に適應するようデザインしている。

（6）印刷・製本等

- ・AB版で,全ページカラー印刷でイラストは大きく,枠をつけている。
- ・再生紙・植物インキを使用している。

3 選定（採択）の理由

選定した教科用図書

種 目	教科書		教 科 書 名（シリーズ）
	発 行 者 の 番 号	略 称	
外国語	9	開隆堂	SUNSHINE ENGLISH COURSE

選定理由

（1）内容の範囲及び程度

- 3年間を通して新学習指導要領の趣旨を踏まえ、外国語の目標を達成できる内容となっており、各学年の生徒の発達段階に応じて適切である。

（2）内容の取扱い

- 小学校とのスムーズな接続を意識した1年生の学習となっている。
- 3年間の最終的な到達目標に向けて、バックワードデザインでの指導計画を立て、4技能5領域を活用する統合的なパフォーマンス活動を軸に、生徒が主体的に学習を進められる。
- Scenes(導入) → Think(本文) → Retell(再話) → Interact(やり取り)の流れで、知識・技能の習得を思考力・判断力・表現力につなげる構成になっている。
- 導入(Scenes)は、小学校で慣れ親しんだマンガ形式の短い対話で場面設定し、新出表現を学ぶようになっている。また、オールイングリッシュの授業を想定したものとなっている。
- Our Projectでは、協働学習に重点が置かれ、友達の発表からよかった点を学び合いながら、次のProjectに生かして進められるようになっている。
- 題材は、日常生活に加え、SDGsに関連した現代的な課題についても取り入れられている。

（3）内容に関する配慮事項

- 場面性のある活動で、目的と相手を意識したコミュニケーション活動が行えるよう配慮されている。特に、即興力を育成するためのスモールステップを踏んだ3つの活動が仕組まれている。
- 言語材料を多様な形態で繰り返し使用し、定着を図ることができる。
- Power-Upでは、各技能に特化した学習ができるように工夫されている。

（4）分量

- 新出語数は1,625語、課数は1年：10課、2年：8課、3年：7課で、発達段階に応じた適切な分量になっており、適切な配分で構成されている。

（5）使用上の便宜

- 3年間の到達目標から逆算した統合的なパフォーマンス活動が各学年系統的に位置づけられている。
- 場面シラバスと文法シラバスをつなぐ対話形式での単元導入となっている。
- 自学自習を促すための音声などが活用できるQRコードが用意されている。

（6）印刷・製本等

- 製本はAB版で、印刷は鮮明で見やすい。
- 巻末の「アクションカード」は切り取り用ミシン目があり、扱いやすい。

3 選定（採択）の理由

選定した教科用図書

種 目 \ 教科書	発 行 者 の		教 科 書 名 (シリーズ)
道 徳	2	東 書	新訂 新しい道徳

選定理由

(1) 内容の範囲及び程度

ア 学習指導要領を踏まえ、22の内容項目全ての内容を網羅し、内容に重点化を図りながら、年間35時間の授業が可能になるよう構成されている。

(2) 内容の取扱い

ア 道徳的価値に照らして自分を振り返ることを促すために、各教材「つぶやき」として自分の考えを書き留めるコーナーが設けられている。

イ 多様な話し合いができるように、問題解決的な学習（各学年1教材）や役割演技など体験的な学習を行う「ACTION!」教材（各学年2教材）が設定されている。

ウ 「いじめ」や「いのち」などの大切な項目は、ユニットを組むことで集中して学習に取り組むことができるよう配慮されている。

エ 各学年巻末に心情円を用意し、生徒が考えたり思ったりしたことを可視化できるようになっている。また、同じく巻末に切り取り式の自己評価用紙を用意し、学期ごとに生徒が自己評価を行うことで評価に活かすことができるようになっている。

(3) 内容に関する配慮事項

ア 各学年、巻頭には、道徳開きにふさわしい見開き1ページの詩や話し合いの手引き、オリエンテーションに活用できる「道徳の時間はこんな時間に」が設定されている。

(4) 分量（ページ数 割合等）

ア 1年生184ページ、2年生192ページ、3年生192ページ

イ 学年の発達段階と指導時数から考えても適切な分量となっている。

(5) 使用上の便宜

ア 挿絵や写真が、読み物の筋に合わせて配置されているので、生徒が読み物の内容を理解しやすくなっている。

イ 各学年5つずつ直前の教材で学習した内容を広げるためのコラムページを設けている。

(6) 印刷・製本等

ア AB判。ユニバーサルデザインフォント、カラーユニバーサルデザイン。

※ 特徴及び長所

・読み物教材ばかりでなく、マンガや話し合い活動、自分を振り返る書き込み式ノートなど、生徒の興味・関心を高める多様な教材が収められている。